

# 総務地域連携常任委員会・スポーツ振興対策調査特別委員会 聯合審査会

## 説明資料 目次

### ◎調査事項

- 1 スポーツ施設の整備について ..... 1
- 2 競技スポーツ水準の向上について ..... 5

### ◎報告事項

- 1 国体開催への情報発信の取組について ..... 27
- 2 第76回国民体育大会の開催準備について ..... 37

### ○別冊資料

(別冊1) 三重県スポーツ施設整備計画(仮称) 中間案(改定版)

(別冊2) 三重県競技力向上対策基本方針(仮称) 中間案(改定版)

平成24年12月17日  
地域連携部スポーツ推進局

# 1 スポーツ施設の整備について

## 1 現状

本県においては、昭和50年の三重国体を契機に県営総合競技場、県営ライフル射撃場、県営松阪野球場を整備し、その後、県営鈴鹿スポーツガーデンの整備に取り組んできました。

さらに、この間、各市町においても、住民福祉の向上や生涯スポーツの推進の観点などから、数多くの体育施設が整備されました。

一方、年月の経過に伴い、施設の老朽化や施設基準の改正、利用者ニーズの多様化、大規模大会の開催予定などスポーツ施設を取り巻く環境が大きく変化してきました。

## 2 「三重県スポーツ施設整備計画（仮称）」の策定について

平成24年3月に策定した「三重県スポーツ施設整備方針」を踏まえつつ、今後の県営スポーツ施設の整備や市町施設への関与のあり方等について取りまとめた「三重県スポーツ施設整備計画（仮称）」を策定することとしています。

策定にあたっては、これまで、県議会及び三重県スポーツ推進審議会、スポーツ施設整備にかかる専門委員会においてご審議いただき、9月には中間案を公表しました。

本計画については、県民の皆さんに継続してスポーツに親しんでいただく施設を目指した整備計画とします。

なお、今後開催が予定されている平成33年の国民体育大会については、「国民体育大会開催基準要項細則」で、「大会の競技施設は既存施設の活用に努める」としており、この細則に則って取組を進めてまいります。

中間案については、10月17日（水）から11月19日（月）までの間、パブリックコメントを実施し、併せて県議会、「審議会」において意見をいただきました。（別紙1）

### ① これまでにいただいた意見等の内訳

#### □ 意見数

- ・パブリックコメント：17件
- ・「審議会」、県議会：9件

□ 項目別意見数

項 目	意見数
1 三重県スポーツ施設整備計画策定の趣旨	0
2 計画の期間	0
3 現状と課題	6
4 スポーツ施設整備の考え方	11
5 施設整備による効果	4
6 県営スポーツ施設の整備・充実	10
7 学校体育施設の整備・充実	3
8 市町が行うスポーツ施設整備についての考え方	3
9 計画の実施にあたって	1
合 計	38

(重複あり)

□ 対応状況

対 応 区 分	件数
① 最終案に反映するもの	4
② 最終案に一部反映するもの	3
③ 既に反映しているもの	10
④ 最終案への反映は難しいが、今後の検討課題、参考とするもの	5
⑤ 最終案に反映することが難しいもの	2
⑥ その他 (①～⑤に該当しないもの)	2
合 計	26

②主な意見の概要

意見の内容はさまざまですが、主なものとしては次のとおりです。

- ・ 県営スポーツ施設（鈴鹿スポーツガーデン、総合競技場）の充実した整備に関する事。 (プロスポーツが開催できる施設整備、鈴鹿スポーツガーデンの早期整備着手、ドーピング検査が行える設備、交通アクセス等) (別紙1 P1-1, P2-7, P3-11, 13, P4-16, 18)
- ・ 防災機能や環境に配慮した施設整備に関する事。 (別紙1 P3-12, P5-24)
- ・ 既存の県営スポーツ施設の改修に関する事。 (別紙1 P4-17, 18, 19)
- ・ 学校体育施設に関する事。 (省エネルギー対策、学校開放等) (別紙1 P3-15, P5-24)

- ・市町が行うスポーツ施設整備に対する支援に関すること。

(別紙1 P2-5, 8, P4-21)

これらについては、内容を検討の上、最終案作成に向けた参考としていきます。

### 3 今後の対応

- (1) 中間案に対するパブリックコメントの項目別対応を、県のホームページに掲載します。
- (2) これまでに、県議会や「審議会」、「専門委員会」、県民の皆さんからいただいた意見をもとに、「三重県スポーツ施設整備計画（仮称）」最終案の策定に向けた取組を進めていきます。
- (3) 計画については、年度内の策定に向け最終案を取りまとめ、1月から2月に開催予定の「審議会」や「専門委員会」で審議いただくとともに、県議会において報告できるよう取組を進めます。



## 2 競技スポーツ水準の向上について

### 1 現状

#### (1) 本県の取組

本県では、国内外で活躍できるトップアスリートを育成し、競技力の向上を図るために、平成 23 年度より「みえのスポーツ強化推進委員会」を設置し、短期、中・長期的な視点に立ち、選手の強化、ジュニア選手の発掘・育成、指導者の養成などに取り組んでいるところです。

#### (2) これまでの成果

これまで、本県競技力の向上に取り組んできた結果、本県出身のアスリートが、オリンピックをはじめとする世界の舞台で活躍しています。また、国内においても、全国大会における本県の入賞件数は増加傾向にあります。

さらに、国民体育大会においては、40 位台であった男女総合成績が、過去 2 ヶ年は 32 位、本年度は 38 位となりました。

#### 【参考】

##### ○全国大会における入賞数の推移（件）

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
国民体育大会	47	50	47	62	49
インターハイ	25	28	31	29	36
全国中学校体育大会	9	11	13	10	11
合計（実績）	81	89	91	101	96

##### ○国民体育大会における本県総合成績の推移

		男女総合成績		女子総合成績	
		順位	得点	順位	得点
第 63 回（平成 20 年）	大分	40 位	744.5 点	44 位	396.0 点
第 64 回（平成 21 年）	新潟	44 位	691.0 点	45 位	363.0 点
第 65 回（平成 22 年）	千葉	32 位	816.5 点	41 位	398.5 点
第 66 回（平成 23 年）	山口	32 位	858.5 点	44 位	359.0 点
第 67 回（平成 24 年）	岐阜	38 位	792.5 点	45 位	330.0 点

※第 67 回大会（平成 24 年）の成績の詳細は、別紙 2 のとおりです。

### (3) 課題

今後は、平成30年に東海ブロックで開催される全国高等学校総合体育大会や、平成33年に本県で開催される国民体育大会を一定の目標年次として、ジュニア選手の発掘・育成をはじめとした、中・長期的な競技力向上に取り組む必要があります。

## 2 「三重県競技力向上対策基本方針（仮称）」の策定について

本年1月に、平成33年の第76回国民体育大会の本県開催が内々定されたことから、この大会を契機とした成績向上と、国民体育大会終了後の安定した競技力の維持につなげ、国内外で活躍できるトップアスリートを育成するための指針として、「三重県競技力向上対策基本方針（仮称）」を策定しています。

この方針は、「みえのスポーツ強化推進委員会」においてご審議いただきしており、去る9月6日、及び12月4日に中間案について、ご議論いただきました。

また、「三重県スポーツ審議会」でも、去る9月11日、及び12月12日に中間案について、ご審議いただきました。

10月3日には県議会に中間案をお示しし、ご意見をいただき、その上で10月16日から11月14日までパブリックコメントを実施し、県民の皆さんからご意見をいただきました。

なお、主なご意見とその対応内容については、別紙3、4のとおりです。

### ① これまでにいただいたご意見等の内訳

#### □ 意見数

- ・ 県議会、みえのスポーツ強化推進委員会：23件
- ・ 三重県スポーツ審議会：8件
- ・ パブリックコメント：17件

#### □ 項目別意見数

対 応 区 分	件数
1 三重県競技力向上対策基本方針の策定趣旨	1
2 本県競技スポーツの現状と課題	2
3 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画	3
4 新しい組織の整備と推進体制	4
5 競技力向上のための取組	38
合 計	48

□ 対応状況

対 応 区 分	件数
①最終案に反映するもの	7
②最終案に一部反映するもの	4
③既に反映しているもの	22
④最終案への反映は難しいが、今後の検討課題、参考とするもの	13
⑤最終案に反映することが難しいもの	1
⑥その他（①～⑤に該当しないもの）	1
合 計	48

②主な意見の概要

意見の内容はさまざまですが、主なものとしては次のとおりです。

- ・国体終了後の県民のメリットに関すること（別紙3 P. 1-1）
- ・本県開催の国体、全国高等学校総合体育大会における中心選手となる小中学生に対するPRに関すること（別紙3 P. 2-8）
- ・女子の競技力向上に関すること（別紙3 P. 3-13, 14）
- ・策定趣旨にある地域との関わりに関すること（別紙4 P. 1-1）
- ・スポーツを「する」、「支援する」、「応援する」というさまざまな立場の方と連携した取組に関すること（別紙4 P. 1-4）

3 今後の対応

県議会、県体育協会や競技団体等の関係団体、並びに県民の皆さんからいただいた様々なご意見を踏まえ、「みえのスポーツ強化推進委員会」の中で、年度内に最終案を取りまとめまいります。

また、平成33年に向けた競技力向上の取組の具体化と計画的な実施を図るため、「競技力向上対策本部（仮称）」の設置準備等に取り組んでまいります。





## 「三重県スポーツ施設整備計画」(仮称)中間案に対する意見とその対応

## 「対応」欄の説明

- ①最終案に反映するもの  
 ②最終案に一部反映するもの  
 ③既に反映しているもの  
 ④最終案への反映は難しいが、今後の検討課題、参考とするもの  
 ⑤最終案に反映することが難しいもの  
 ⑥その他(①～⑤に該当しないもの)

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
1	6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 14	鈴鹿スポーツガーデンの整備時期が不明確だが、いつ頃を想定しているのか。2019年には、ラグビーのワールドカップが開催されるので、それに間に合うように整備してほしい。	①	鈴鹿スポーツガーデンについては、プロスポーツや大規模大会が開催できる施設への改修を考えていますので、平成33年の国民体育大会等もあることから、それに間に合うように整備することとし、最終案に明記します。	p. 14に追記
2	4 スポーツ施設整備の 考え方	P. 10	施設整備については、国体のためだけの過度な投資にならないようにするべきである。	①	本計画は、今後の県営スポーツ施設の整備や市町施設等への関与のあり方等について、概ね10年先を見据えたものとしています。従って、国体を視野に入れながらも、それ以降も、県民の皆さんに未永くスポーツに親しんでいただく施設を目指した整備を考えていきます。	p. 10に追記
3	3 現状と課題  5 施設整備による効果	P. 6  P. 12	昭和50年の三重国体後、他県に比して施設整備にお金をかけてこなかったことが、今日の施設の貧弱さにつながっている。 競技力向上には施設が欠かせない。また、選手権大会等の大規模大会を開催すれば競技力は向上するはずである。	③	施設を整備のうえ充実させることは、競技者や利用者にとって充実したスポーツ活動が期待されます。 特に競技者にとっては、活動の質・量ともに充実したものとなり、ひいては競技力の向上につながっていくと考えます。 また施設が充実することにより、大規模大会の開催も可能となり、競技力向上や一流のプレイヤーを見ることにより運動をするきっかけづくりに繋がっていきます。 そのためにも、施設整備は重要であると考えます。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
4	9 計画の実施にあたって	P. 17	この計画は具体的なアクションプランのようなものであるので、計画の見直しは、柔軟に対応するようにしてほしい。	③	計画策定後も社会情勢の変化等で見直しが必要なことも考えられますので、特段の事由が生じた場合には、必要に応じ計画の見直しを行っていくこととし、計画に明記しています。	
5	8 市町が行うスポーツ施設整備についての考え方	P. 16	市町が行うスポーツ施設の整備に係る支援について、施設の「改修」についても支援対象とならないか。財政力のない市町は、施設の「新設」「改築」は難しい。	⑤	市町が行う施設整備に係る支援対象施設として、広域的拠点施設で「新設」「改築」を対象としています。 本県スポーツ施設が数・規模ともに不足している課題に対応するため、「新設」「改築」に限ることとしています。	
6	3 現状と課題	P. 8	施設の整備を行うのであれば、次の世代に良い施設を残してもらいたい。	②	スポーツ施設の整備については、「する」「みる」「支える」といった観点からの整備や、併せて防災機能等を付加するといった整備など、それ以降も、県民の皆さんに未永くスポーツに親しんでいただく施設を目指した整備を考えていきます。	
7	6 県営スポーツ施設の整備・充実	P. 13	子どもたちや障がい者の方々が、簡単に行ける公共交通機関が整備された場所で、安心して活動できる施設にしてもらいたい。	④	利用者の皆さんに施設を快適に利用していただくために、交通アクセスの整備は非常に重要なことと認識しております。関係市町や交通事業者と協議を進めてまいります。	
8	8 市町が行うスポーツ施設整備についての考え方	P. 16	市町が行うスポーツ施設の整備に係る支援について、中間案に記述のとおり、県南部地域への配慮については是非お願いしたい。	③	計画に記述のとおり、県南部地域は県、市町営及び新たなスポーツ拠点と考える学校体育施設についても少ない状況であるため、スポーツによる地域の活性化を図る観点からも、市町が行うスポーツ施設整備に対する支援については、一定の配慮が必要であると考えています。	
9	7 学校体育施設の整備・充実	P. 15	校庭の芝生化については、この計画の施設整備に入れないのか。 第7次スポーツ振興計画に入っており、それを具体化することはできないのか。	④	運動場の芝生化については、第7次スポーツ振興計画の中で調査、研究を進める旨記述されており、個別の事案として対応してまいります。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
10	4 スポーツ施設整備の 考え方  6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 10  P. 13	県営スポーツ施設について、今後はプロスポーツの公式試合にも応えうるものも整備し、拡充を図るという点に賛同する。 施設の整備には多額の費用がかかると思うが、ハード（施設）が充実しなければ、ソフト（県民）は充実しないと思う。	③	スポーツを通じた地域の活性化など期待される効果を十分に発揮できるよう整備してまいります。	
11	6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 14	県営総合競技場陸上競技場については、平成29年度の完成を目指すとするが、県営鈴鹿スポーツガーデンについては、完成の具体的な年度がない。1年でも早い整備を期待したい。	①	鈴鹿スポーツガーデンについては、サッカーJリーグやラグビーフットボールのトップリーグが開催できるスタジアム基準を整理したうえで、平成33年の国民体育大会等も見据えた整備を進めてまいります。	p. 14に追記
12	3 現状と課題 4 スポーツ施設整備の 考え方 5 施設整備による効果	P. 9  P. 10  P. 12	雨水や井戸水を利用した節水や空調利用も省エネルギー対策であり、災害時の消防水や生活水として有効である。また、三重県の特性を考えるとバイオマス設備と太陽光発電を組み合わせた設備による発電、給湯、空調利用が一番有効である。	②	これからのスポーツ施設については、防災機能も兼ね備えることが望ましいと考えます。 また、省エネルギー対策等環境にやさしい施設として、太陽光発電設備だけでなく、それぞれが補完しあえるような設備を検討してまいります。	
13	6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 13	Jリーグをはじめ、国体や陸上、ラグビーなどトップレベルのアスリートが試合を行う場合、ドーピング検査は切っても切れない関係にあることから、ドーピング検査をする設備が必要である。	①	各種大会には競技者、観客、競技運営関係者、施設スタッフ、報道関係者等、多様な利用に対応する必要があることから、競技規則等を参考にしながら、付帯設備の整備を進めてまいります。	p. 10に追記
14	4 スポーツ施設整備の 考え方	P. 10	集客向上及び災害時の情報発信として、コミュニティーラジオやエリアワンセグ設備が重要である。	⑤	近隣では尾鷲市が、エリアワンセグ放送を防災情報伝達ツールとしての有効性を検証しています。そういった先事例を踏まえ施設整備の一つとして検討してまいります。	
15	7 学校体育施設の整 備・充実	P. 15	市営施設や学校施設に関しても、省エネルギー対策として、太陽光発電やバイオマス設備、雨水や井戸水による水利用が重要になる。また、情報発信設備による会場中継や災害時の情報発信が重要になる。	④	市町施設や学校施設についても、災害時のツールとしてこれらの設備が有効であると考えられますので、防災機能を持つことや環境への配慮など関係機関への働きかけを行ってまいります。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
16	6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 13	バスによるピストン運行ができる道路整備や駐車スペースの確保、鉄道からのアクセスのしやすさなど、交通アクセスの利便性を考えて欲しい。	④	利用者の皆さんに施設を快適に利用していただくために、交通アクセスの整備は非常に重要なことと認識しております。関係市町や交通事業者と協議を進めてまいります。	
17	6 県営スポーツ施設 の整備・充実	P. 14	今回の整備計画は、県営施設については陸上競技場 ガーデンのサッカー場のことは記載されています。 私は、テニスをしておりガーデンのテニスコートをよく使いますが、試合を見る機能について（観客席）が設置されておらず不便をしています。県大会、東海大会などの大会で応援ができる観客席の設置についてはどのように考えますか。	④	鈴鹿スポーツガーデンのセンターコートを除いたテニスコートについては観客席がありません。大会の規模や大会数を勘案し、今後の整備の一つとして検討してまいります。	
18	4 スポーツ施設整備の 考え方 6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 10 P. 14	テニスをしています。 ガーデンのシェルターコートの防風ネットがあまり役立っていないように思います。機能を根本的に直すなどの対応はできませんでしょうか。	③	鈴鹿スポーツガーデンのテニスコートは供用を開始して15年以上が経ち、施設の老朽化が散見されるようになってきました。 県営スポーツ施設については、老朽化対策、安全対策、競技規則への対応など、必要な改修、維持補修等を行います。	
19	4 スポーツ施設整備の 考え方 6 県営スポーツ施設の 整備・充実	P. 10 P. 14	総合競技場の体育館については、耐震は大丈夫ですか。 相当古い建築物になると思いますので、いっそ建て替えを検討するなど整備計画に書くことはできませんか。	③	総合競技場にある体育館は昭和38年に三重県体育館として建設されました。その後、幾度の改修を行い、現在の耐震化基準に適合していることを確認しております。 県営スポーツ施設については、老朽化対策、安全対策、競技規則への対応など、必要な改修、維持補修等を行います。	
20	4 スポーツ施設整備の 考え方	P. 11	三重武道館の建設について、確か強い要望があったように思います。このことが今回の計画の中にならぬように思いますが、いつになったら新しい武道館ができますか。今の三重武道館では大会もできません。よろしく願います。	⑥	三重武道館については、現在、津市で計画されている屋内総合スポーツ施設内にその機能を移すことにしております。	
21	8 市町が行うスポーツ 施設整備についての 考え方	P. 16	県内の某市に住んでいます。 今回の計画の中で市町への補助のことが書かれており、少し期待をしています。具体的に、どのぐらいの額を補助するとか、どのような規模のものに補助するなどが分かりません。 この点について記入はしないのですか。	⑥	計画においては、市町の施設整備に対する補助について考え方を示しているものです。 具体的なことについては、別途要綱を定めることとしています。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
22	3 現状と課題 6 県営スポーツ施設の整備・充実	P. 6 P. 14	三重県の施設は、東海4県の中でもひどい状況にあると思います。 そのような中、サッカー場の改修などに取り組むことが表明されたことは評価したいと思います。財政状況厳しい時期ですがぜひとも工夫を凝らして取り組んでください。	③	鈴鹿スポーツガーデンのサッカー・ラグビー場の現状の施設及び設備を最大限利用することとして、各競技の施設基準に合致するよう、計画にも位置づけ整備してまいります。 また、防災機能なども付加したものとします。	
23	3 現状と課題 4 スポーツ施設整備の考え方	P. 6 P. 10	中間案を見て、改めて三重県のスポーツ施設の状況が他県に比べて劣っていることがわかりました。 今後は、国体も開催されるようですので、ぜひとも他県に負けないような、恥ずかしくないような施設の整備に頑張ってください。	②	施設の数だけでなく、県民の皆さんにとって使いやすい施設となるよう努めてまいります。	
24	3 現状と課題 4 スポーツ施設整備の考え方	P. 9 P. 10	今回の計画の中に、防災の視点が入っていることを評価します。 スポーツ施設は、スポーツをするためだけの施設ではなく多くの機能があるとよいという考えを持っていました。 東日本の震災の時にもスポーツ施設が物資の置き場所になるなど活用されたと聞いています。防災だけでなく、多くの機能を付加されることを期待しています。	③	これからのスポーツ施設については、防災機能も兼ね備えることが望ましいと考えます。 また、省エネルギー対策等環境にやさしい施設として、太陽光発電設備だけでなく、それぞれが補完しあえるような設備を検討してまいります。	
25	3 現状と課題 4 スポーツ施設整備の考え方 5 施設整備による効果	P. 8 P. 10 P. 12	スポーツ施設は、単にアスリートのものだけでなく、私のような老人（78歳）でも使いやすい施設にしてほしいと思います。 今は、少しスポーツをして健康維持を行っていますが、特に、大会を見に行くときには、エレベーターがなかったりして、不自由を感じることがあります。こうした点についても配慮をお願いします。	③	スポーツ施設はスポーツをする人だけでなく、観戦する人、施設や選手をサポートする人にとって使いやすいものであるべきです。これから整備される施設については、ご指摘のエレベーターを含め、誰しも使いやすい施設となるよう整備してまいります。	
26	7 学校体育施設の整備・充実	P. 15	私は、総合型地域スポーツクラブで活動しています。地域の学校はまさに地域のスポーツ活動の場所になっています。 地域の学校が使いやすくまた充実することを強く要望します。 活動場所を確保するのに本当に苦勞しています。	③	県、市町他私立学校施設など、他主体のスポーツ施設の配置状況を勘案しながら、学校施設によって整備することが望ましい箇所について、その対応のあり方を、県教育委員会や学校法人など関係団体と連携しながら協議してまいります。	



## 第67回国民体育大会の総合成績について

### 1 開催県及び開催期日

- ・ 冬季大会
  - 愛知県 (スケート、アイスホッケー競技会) 平成24年 1月28日(土) ~ 2月 1日(水)
  - 岐阜県 (スケート競技会) 平成24年 1月28日(土) ~ 2月 1日(水)
  - 岐阜県 (スキージャンプ競技会) 平成24年 2月14日(火) ~ 2月17日(金)
- ・ 本大会
  - 岐阜県 平成24年 9月19日(土) ~ 10月 9日(火)
  - (会期前開催) 水泳 9月13日(木) ~ 9月17日(月)

### 2 総合成績

#### (1) 男女総合成績 (天皇杯) 第38位

- 全競技終了確定 獲得点: 792.5点 (競技得点: 402.5点、参加点: 390点)
- ・ 冬季大会 獲得点: 31点 (競技得点: 1点、参加点: 30点) 冬季大会順位: 32位
  - ・ 本大会 獲得点: 761.5点 (競技得点: 401.5点、参加点: 360点) 本大会順位: 35位

#### (2) 女子総合成績 (皇后杯) 第45位

- 全競技終了確定 獲得点: 330点 (競技得点: 50点、参加点: 280点)
- ・ 冬季大会 獲得点: 10点 (競技得点: 0点、参加点: 10点) 冬季大会順位: 37位
  - ・ 本大会 獲得点: 320点 (競技得点: 50点、参加点: 270点) 本大会順位: 45位

### 3 入賞者

【団体種目 獲得競技得点: 225.0点】

順位	成 年 の 部		得点	少 年 の 部		得点	
1	テ	ニス	男子 (三重選抜)	24			
	ラ	グビー	男子 (三重選抜)	64			
2				ゴ	ルフ	男子 (三重選抜) 21	
3				テ	ニス	男子 (三重選抜) 18	
4	ソ	フトテニス	男子 (三重選抜)	25	テ	ニス	女子 (三重選抜) 15
5	体 操 ( 競 技 )		男子 (三重選抜)	12			
	自 転 車 (チームスプリント)		男子 (三重選抜)	12			
6	フ ェ ン シ ン グ (フルーレ)		女子 (三重選抜)	9			
7	フ ェ ン シ ン グ (エペ)		女子 (三重選抜)	6	ソ	フトテニス	女子 (三重選抜) 10
					銃	剣 道	男子 (三重選抜) 6
8	山 岳 (ボルダリング)		男子 (三重選抜)	3			



【個人種目 獲得競技得点：177.5点】

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	獲得点
1	陸上競技	少年男子A	400m	愛敬 彰太郎	桑名高校	8
	レスリング	成年男子	71kg級 55kg級	高橋 侑希	山梨学院大学 (いなべ総合学園高校出身)	8
	自転車	成年男子	4km速度競走	高士 拓也	中央大学 (朝明高校出身)	8
2	陸上競技	成年男子	3000m障害	梅枝 裕吉	NTN (株)	7
		少年男子A	5000m	西山 雄介	伊賀白鳳高校	7
		少年男子B	走幅跳	松岡 修平	高田高校	7
	水泳 (競泳)	少年男子A	50m自由形	甫本 研太	松阪高校	7
	レスリング	少年男子	グレコ-レスリング 96kg級	服部 弘慶	朝明高校	7
	ウエイトリフティング	少年男子	56kg級 スナッチ	伊丹 玲於奈	四日市工業高校	7
		少年男子	77kg級 ジャーク	太田 雄斗	四日市工業高校	7
	自転車	成年男子	1kmタイム・トライアル	神田 龍	三重県自転車競技連盟	7
ライフル射撃	少年男子	ビーム・ライフル2種 (30歳)	北出 義城	久居高校	7	
3	ボクシング	成年男子	ライトフライ級	山本 拳	日本大学 (久居高校出身)	5.5
		少年男子	ウェルター級	池土 勝隆	久居高校	5.5
	レスリング	少年男子	71kg級 66kg級	松尾 侑亮	いなべ総合学園高校	5.5
	ウエイトリフティング	成年男子	62kg級 スナッチ	坂 典泰	四日市工業高校教諭	6
		少年男子	56kg級 ジャーク	伊丹 玲於奈	四日市工業高校	6
	自転車	少年男子	1kmタイム・トライアル	堀田 海人	朝明高校	6
4	陸上競技	成年女子	5000m	尾西 美咲	(株) 積水化学工業 (宇治山田商業高校出身)	5
	水泳 (競泳)	少年男子A	100m自由形	甫本 研太	松阪高校	5
	ウエイトリフティング	成年男子	62kg級 ジャーク	坂 典泰	四日市工業高校教諭	5
5	陸上競技	少年男子A	三段跳	竹内 大晴	近畿大学工業高等専門学校	4
		成年男子	100m自由形	箕成 貴之	JFE京浜 (名張桔梗丘高校出身)	4
	ボクシング	成年男子	バンタム級	笹木 雄作	日本体育大学 (皇學館高校出身)	2.5
		少年男子	フライ級	藤井 将	久居高校	2.5
		少年男子	ライトウェルター級	丑岡 涼太	三重水産高校	2.5
レスリング	少年男子	71kg級 74kg級	日紫喜 豪貴	いなべ総合学園高校	2.5	
6	陸上競技	少年男子A	走幅跳	竹内 大晴	近畿大学工業高等専門学校	3
	ウエイトリフティング	少年男子	85kg級 スナッチ	太田 康嗣	四日市中央工業高校	3
	馬術	成年男子	国体総合馬術	中村 勇	北勢ライディングファーム	3
		成年女子	トップスコア	中村 洋子	北勢ライディングファーム	3
7	陸上競技	少年男子A	100m	諏訪 達郎	四日市工業高校	2
		成年少年男子共通	4×100mリレー	三重 (選抜)		2
	ウエイトリフティング	少年男子	85kg級 ジャーク	太田 康嗣	四日市中央工業高校	2
	馬術	成年女子	ダービー	中村 洋子	北勢ライディングファーム	2
	ライフル射撃	少年男子	ビーム・ライフル2種 (30歳)	北出 義城	久居高校	2
9	スキー	成年男子B	大回転	鳥山 真也	鳥山商事(株)	1

天皇杯順位(男女総合成績)の推移

第63回大分			第64回新潟			第65回千葉			第66回山口			第67回岐阜		
順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計
1	大分	2386.5	1	新潟	2426.0	1	千葉	2921.5	1	山口	2220.5	1	岐阜	3028.5
2	東京	1893.0	2	東京	1910.0	2	東京	2171.5	2	東京	2053.5	2	東京	2031.0
3	埼玉	1878.5	3	大阪	1767.0	3	神奈川	1795.0	3	愛知	1953.33	3	愛知	1960.0
4	神奈川	1650.5	4	埼玉	1739.5	4	埼玉	1754.5	4	岐阜	1669.0	4	埼玉	1922.0
5	大阪	1647.5	5	神奈川	1643.0	5	大阪	1629.5	5	大阪	1633.0	5	大阪	1594.5
6	千葉	1569.0	6	千葉	1589.5	6	愛知	1578.5	6	神奈川	1628.83	6	神奈川	1490.0
7	兵庫	1507.0	7	北海道	1550.5	7	京都	1443.0	7	千葉	1612.5	7	千葉	1444.0
8	愛知	1502.5	8	愛知	1530.3	8	兵庫	1442.0	8	埼玉	1546.5	8	京都	1429.0
9	北海道	1484.5	9	京都	1507.0	9	福岡	1437.0	9	広島	1460.5	9	福岡	1413.0
10	福岡	1452.5	10	兵庫	1324.5	10	北海道	1419.5	10	北海道	1392.5	10	北海道	1406.0
11	京都	1435.5	11	広島	1248.5	11	岐阜	1302.5	11	兵庫	1341.5	11	兵庫	1401.5
12	宮城	1230.5	12	岡山	1238.0	12	広島	1266.5	12	福岡	1341.5	12	岡山	1148.5
13	広島	1202.0	13	熊本	1210.0	13	山口	1230.5	13	京都	1299.5	13	岡山	1137.0
14	岡山	1195.0	14	大分	1209.0	14	岡山	1164.5	14	岡山	1272.0	14	静岡	1103.0
15	長野	1155.5	15	宮城	1201.5	15	長野	1138.5	15	長崎	1055.5	15	山口	1066.5
16	茨城	1148.5	16	岐阜	1194.5	16	新潟	1097.0	16	山梨	1012.0	16	群馬	1052.0
17	岐阜	1144.0	17	群馬	1175.5	17	静岡	1067.5	17	長野	983.5	17	長野	1026.0
18	新潟	1129.0	18	長野	1147.0	18	大分	1039.0	18	熊本	972.5	18	栃木	1005.5
19	静岡	1064.5	19	福岡	1136.0	19	宮城	1036.5	19	秋田	971.0	19	大分	955.0
20	熊本	1038.5	20	長崎	1034.3	20	群馬	1014.0	20	宮城	962.5	20	長崎	939.5
21	佐賀	1010.5	21	静岡	1029.0	21	熊本	995.5	21	群馬	961.0	21	和歌山	934.5
22	群馬	1009.0	22	石川	1020.5	22	石川	966.0	22	静岡	959.0	22	新潟	933.0
23	秋田	991.5	23	茨城	995.3	23	茨城	954.5	23	佐賀	957.5	23	熊本	930.5
24	香川	989.5	24	香川	977.0	24	香川	947.0	24	大分	953.5	24	福井	916.0
25	石川	975.0	25	鹿児島	932.0	25	富山	943.5	25	愛媛	939.5	25	宮城	905.0
26	山梨	948.5	26	栃木	908.0	26	山梨	942.0	26	香川	925.0	26	石川	904.5
27	鹿児島	947.0	27	山形	898.5	27	栃木	929.0	27	栃木	920.0	27	富山	891.0
28	青森	933.0	28	山口	890.5	28	秋田	881.5	28	宮崎	919.0	28	山形	883.0
29	栃木	910.5	29	佐賀	888.5	29	青森	880.0	29	青森	913.5	29	香川	883.0
30	長崎	895.0	30	秋田	868.0	30	滋賀	866.0	30	福井	891.0	30	佐賀	846.0
31	福島	858.5	31	山梨	859.0	31	長崎	834.0	31	石川	877.0	31	鹿児島	845.0
32	富山	824.5	32	福井	837.0	32	三重	816.5	32	三重	858.5	32	滋賀	819.0
33	奈良	823.5	33	奈良	833.0	33	岩手	812.5	33	新潟	843.5	33	茨城	817.5
34	福井	823.0	34	青森	803.5	34	福井	808.5	34	滋賀	825.0	34	愛媛	817.0
35	山口	814.5	35	福島	788.0	35	奈良	793.5	35	奈良	815.5	35	奈良	814.5
36	岩手	801.0	36	愛媛	777.0	36	山形	788.5	36	茨城	802.0	36	秋田	814.0
37	宮崎	789.0	37	富山	773.0	37	和歌山	780.5	37	富山	796.83	37	宮崎	794.5
38	山形	779.5	38	滋賀	758.0	38	愛媛	770.5	38	鹿児島	777.5	38	三重	792.5
39	滋賀	770.5	39	岩手	744.5	39	鹿児島	769.5	39	沖縄	760.5	39	岩手	790.0
40	三重	744.5	40	徳島	739.5	40	佐賀	767.5	40	福島	727.0	40	青森	770.5
41	和歌山	739.0	41	沖縄	736.5	41	宮崎	729.5	41	岩手	715.0	41	山梨	751.0
42	愛媛	705.0	42	島根	719.5	42	島根	724.0	42	山形	713.0	42	沖縄	694.0
43	徳島	689.0	43	和歌山	705.0	43	福島	715.5	43	和歌山	670.0	43	福島	685.0
44	沖縄	684.0	44	三重	691.0	44	徳島	655.0	44	鳥取	628.0	44	鳥取	660.5
45	島根	649.0	45	高知	663.5	45	沖縄	636.5	45	島根	579.5	45	島根	597.0
46	鳥取	626.0	46	宮崎	622.5	46	鳥取	629.5	46	高知	536.5	46	徳島	597.0
47	高知	581.5	47	鳥取	598.5	47	高知	511.0	47	徳島	525.0	47	高知	567.0

皇后杯順位(女子総合成績)の推移

第63回大分			第64回新潟			第65回千葉			第66回山口			第67回岐阜		
順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計	順位	県名	得点合計
1	大分	1136.5	1	新潟	1054.5	1	千葉	1325.5	1	山口	1089.5	1	岐阜	1460.0
2	東京	909.0	2	東京	1001.0	2	東京	995.5	2	東京	976.5	2	東京	1008.5
3	兵庫	848.5	3	大阪	863.5	3	愛知	852.5	3	岐阜	958.5	3	愛知	931.0
4	埼玉	829.5	4	神奈川	782.5	4	神奈川	836.0	4	大阪	924.0	4	埼玉	899.5
5	大阪	788.0	5	千葉	760.0	5	兵庫	832.5	5	愛知	846.5	5	福岡	737.5
6	神奈川	758.0	6	愛知	755.8	6	大阪	757.5	6	千葉	830.5	6	大阪	725.5
7	愛知	744.5	7	埼玉	746.0	7	北海道	757.0	7	北海道	752.5	7	千葉	722.0
8	福岡	719.0	8	岐阜	738.0	8	京都	709.0	8	神奈川	741.0	8	兵庫	715.0
9	千葉	710.5	9	北海道	730.0	9	福岡	703.5	9	兵庫	715.0	9	京都	681.5
10	北海道	681.0	10	兵庫	696.0	10	広島	685.0	10	福岡	698.0	10	神奈川	680.0
11	岐阜	672.0	11	京都	645.0	11	埼玉	667.0	11	埼玉	675.5	11	北海道	675.5
12	岡山	663.0	12	大分	640.5	12	岐阜	661.5	12	広島	646.0	12	熊本	615.5
13	京都	650.0	13	広島	629.0	13	熊本	631.0	13	岡山	635.0	13	静岡	604.5
14	広島	633.0	14	岡山	619.0	14	岡山	616.5	14	京都	589.0	14	岡山	578.5
15	新潟	620.5	15	群馬	597.0	15	山口	613.5	15	静岡	563.5	15	山口	571.5
16	宮城	613.0	16	長野	574.0	16	静岡	600.5	16	大分	540.5	16	群馬	565.5
17	長野	596.5	17	宮城	563.0	17	長野	584.0	17	愛媛	540.0	17	長野	565.0
18	群馬	540.0	18	静岡	559.0	18	群馬	543.0	18	長崎	532.0	18	広島	562.0
19	山梨	539.0	19	熊本	541.5	19	石川	539.0	19	山梨	531.0	19	栃木	546.0
20	茨城	538.5	20	山口	526.5	20	富山	530.5	20	石川	511.0	20	大分	536.0
21	静岡	531.5	21	山梨	525.0	21	香川	524.5	21	長野	507.5	21	新潟	520.5
22	香川	530.5	22	茨城	524.3	22	大分	523.5	22	栃木	498.0	22	福井	512.0
23	熊本	530.5	23	長崎	523.3	23	山形	519.5	23	福井	496.0	23	長崎	510.5
24	鹿児島	527.0	24	山形	523.0	24	新潟	517.5	24	宮城	494.5	24	石川	488.5
25	秋田	520.0	25	福岡	522.5	25	宮城	507.5	25	群馬	492.5	25	香川	486.5
26	石川	515.5	26	鹿児島	520.0	26	山梨	503.0	26	熊本	483.5	26	宮城	482.5
27	佐賀	500.5	27	佐賀	516.0	27	滋賀	476.0	27	秋田	476.0	27	山形	480.0
28	富山	492.0	28	徳島	513.0	28	鹿児島	473.0	28	新潟	471.5	28	富山	480.0
29	山口	482.5	29	石川	496.5	29	茨城	472.0	29	滋賀	469.0	29	滋賀	466.0
30	長崎	474.5	30	福井	492.0	30	秋田	471.0	30	富山	466.5	30	佐賀	464.5
31	滋賀	473.0	31	滋賀	490.0	31	愛媛	471.0	31	佐賀	465.5	31	愛媛	459.0
32	和歌山	463.0	32	香川	475.5	32	福井	455.5	32	青森	440.0	32	鹿児島	456.0
33	福井	461.5	33	愛媛	446.5	33	佐賀	445.0	33	山形	434.5	33	秋田	452.5
34	山形	459.5	34	富山	442.5	34	栃木	436.5	34	鹿児島	432.5	34	茨城	442.5
35	岩手	453.0	35	和歌山	441.0	35	徳島	433.0	35	香川	431.5	35	山梨	437.5
36	福島	429.5	36	島根	441.0	36	青森	432.0	36	宮崎	413.0	36	鳥取	436.5
37	愛媛	429.0	37	福島	421.5	37	岩手	427.5	37	茨城	410.0	37	和歌山	433.0
38	鳥取	426.5	38	栃木	420.5	38	和歌山	421.0	38	奈良	408.5	38	奈良	421.5
39	徳島	421.0	39	沖縄	418.5	39	島根	419.5	39	岩手	390.0	39	宮崎	414.5
40	栃木	420.5	40	鳥取	412.0	40	長崎	412.0	40	福島	387.0	40	岩手	408.0
41	奈良	414.0	41	秋田	408.5	41	三重	398.5	41	鳥取	380.0	41	青森	396.0
42	宮崎	407.0	42	青森	381.5	42	鳥取	382.0	42	沖縄	376.0	42	高知	372.0
43	島根	398.0	43	奈良	375.5	43	奈良	381.0	43	高知	361.5	43	徳島	367.5
44	三重	396.0	44	岩手	371.0	44	福島	365.5	44	三重	359.0	44	福島	363.0
45	青森	355.5	45	三重	363.0	45	宮崎	359.0	45	和歌山	354.0	45	三重	330.0
46	沖縄	341.5	46	宮崎	341.5	46	沖縄	356.0	46	島根	340.5	46	島根	328.0
47	高知	321.0	47	高知	327.5	47	高知	347.0	47	徳島	321.0	47	沖縄	310.0

「競技力向上対策基本方針(仮称)」中間案に対する主な意見とその対応(県議会、推進委員会、パブコメ)【抜粋】

別紙3

「対応」欄の説明

- ①最終案に反映するもの
- ②最終案に一部反映するもの
- ③既に反映しているもの

- ④最終案への反映は難しいが、今後の検討課題、参考とするもの
- ⑤最終案に反映することが難しいもの
- ⑥その他(①～⑤に該当しないもの)

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
1	3. 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画	P 18	天皇杯をめざすことは、スポーツ界は喜ぶべきことだと思うが、一般の人がいかに納得するかどうか。国体終了後の県民へのメリットがわかるようにしないとイケない。	①	意見趣旨を反映し、⑤しくみづくりの中に「国民体育大会の開催を契機に育成された選手や新たに発掘された選手が、国民体育大会開催後も引き続き支援を受けることができ、その活躍が県民に夢と感動を与えられるような風土づくりを進めます。」を追記しました。	P23に 追記
2	3. 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画	P 18	目標の期間に対して、取組がぼやけている。具体的に何をするのか、あまり書かれていない。3年で区切っているが、3年は非常に短く、時代の流れも速い。ボリュームが多いので、本当にできるのかと思う。	④	今後、方針を固めたうえで、(2)各期間の目標と取組の中の三期別計画、とりわけ今後3年間の計画において、具体的な事業を提示していきたいと考えています。	
3	3. 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画	P 18	平成25年の目標順位が20位台となっているが、今年の現状から考えて30位前半でもよいのではないかと。	④	あくまで、(2)各期間の目標と取組の中の三期別目標のうち、一期目の目標としては、20位台と設定したいと考えています。今後は、期別毎に見直しも必要と考えています。	
4	4. 新しい組織の整備と推進体制	P 19	誰が取り組むのか、ということがはっきり書かれていない。	④	4新しい組織の整備と推進体制の中で、役割を明確にして取り組んでいきたいと考えています。	
5	4. 新しい組織の整備と推進体制	P 19	競技力向上対策本部という名称をもう少し、誰がみても何をするとところなのか、というのがわかるような名称「チームみえ推進局」とかにしてほしい。	⑤	他県の状況や過去の取組の状況もふまえ、原案で対応したいと考えています。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
6	5. 競技力向上のための取組	P 21	もっともっと三重県からオリンピックに出場し、活躍する選手を育ててください。	③	この基本方針では国内外の大会で活躍するトップアスリートを育成することを目的としており、5つの取組すべてにおいて対応したいと考えています。	
7	5. 競技力向上のための取組	P 21	全国大会における中学生の入賞数が少ないように思うので、取組をお願いします。	③	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中の「小学生から中学生の体力向上を図りながら、ジュニア選手の発掘・育成を進めます。また、学校運動部に対する重点的な支援を行い、育成・強化を行います。」の中で対応したいと考えています。	
8	5. 競技力向上のための取組	P 21	本県で開催する国体やインターハイでは、ぜひ本県で生まれ育った選手に活躍してほしいと思います。それらの大会で中心となるのは、現在の小中学生の子どもたちです。 その子どもたちに対して、平成30年のインターハイや平成33年の国体のことをもっとPRしてはどうでしょうか。	①	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化のうち、⑥ジュニア選手層拡大のための発掘の中に「ジュニア選手層拡大に向けて競技スポーツの情報発信に取り組む」を追記しました。	P21に 追記
9	5. 競技力向上のための取組	P 21	トップアスリートのすばらしい演技を目の前で見せてくれ、子どもたちが教わる機会があればいいと思います。	④	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中の「小学生から中学生の体力向上を図りながら、ジュニア選手の発掘・育成を進めます。また、学校運動部に対する重点的な支援を行い、育成・強化を行います。」において、対応したいと考えています。 なお、ご意見の趣旨を参考に今後の具体的取り組みを検討してまいります。	
10	5. 競技力向上のための取組	P 21	三重県伊勢市の御園中学校にはサッカー部がありません。子どもたちからサッカーを取り上げないためにも何とかサッカー部を作りたいので後押しをよろしくお願いします。もちろん、御園中学校だけではありません。ほかの中学校でも同じだと思います。子どもたちの意見も吸い上げ、無理やりやらせるのではなく、積極的にスポーツを行える環境を作ってください。	②	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中の「ジュニア選手が中・高においても継続して取組を進めます。」において、ジュニア全般の環境整備に努めてまいります。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
11	5. 競技力向上のための取組	P 21	中学生の県外に流出していることも、無視できない問題で対応を考える必要はないか。	③	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中の「小学生から中学生の体力向上を図りながら、ジュニア選手の発掘・育成を進めます。また、学校運動部に対する重点的な支援を行い、育成・強化を行います。」において対応したいと考えています。	
12	5. 競技力向上のための取組	P 21	いわゆるゴールデンエイジへの働きかけが重要となると思うが、様々な運動を経験することが重要だと思う。日本では競技力を学校に頼っているし、それで強くなるならよいが、今後は体制として難しいと考える。	③	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化のうち、⑥ジュニア選手拡大のための発掘の中の「小中学生を対象として、発掘のための体験・育成プログラムの実施や体力測定等のイベントを行い、ジュニア選手の発掘を進めます。また、保護者に対しては、子どもたちを支える知恵や意識の醸成を図ります。」、及び⑩チームみえジュニアの育成の中の「将来有望な小中学生のジュニア選手を「チームみえジュニア」として育成・強化します。」において、対応を考えていきます。	
13	5. 競技力向上のための取組	P 21	男子に比べて、女子の競技力が低いように思うので、取組をお願いします。	①	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化のうち、⑩女子選手の育成の中の「特にジュニア及び少年選手を中心に発掘や育成における「女子選手」に特化した取組を進めます。」として意見趣旨を反映しました。	P21に 追記
14	5. 競技力向上のための取組	P 21	女子の得点がやはり足りないということがよく分かる。女子についても課題があるにもかかわらず、特記するべき取組がない。アプローチが必要ではないのか。	①	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化のうち、⑩女子選手の育成の中に「特にジュニア及び少年選手を中心に発掘や育成における「女子選手」に特化した取組を進めます。」として意見趣旨を反映しました。	P21に 追記
15	5. 競技力向上のための取組	P 22	大学もクラブ等で活性化をすることも必要な気がするので、こちらからアプローチをかけてもよいと思う。	③	②成年選手の育成・強化のうち、④県内の大学やクラブチーム、企業チーム等の支援の中の「大学やクラブチーム、企業チーム等を強化指定し、活動の支援を行うことで、全国トップレベルのチームや選手の育成を進めます。」において対応したいと考えています。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
16	5. 競技力向上のための取組	P 22	いわゆるマイナー競技に接する機会を作ってほしいと思います。お願いします。	③	②成年選手の育成・強化のうち、⑥未普及競技の育成支援の中の「全国大会等で実績の少ない競技や、県内での普及が十分でない競技に対する普及・強化対策を行うことで県全体のレベルアップにつながります。」において、対応したいと考えています。	
17	5. 競技力向上のための取組	P 21～ 22	私は高校、大学とボート部に所属していましたが、常に部員不足に悩んでいました。ボート競技だけでなく、部員不足に悩んでいるクラブはたくさんあると思うので、普及活動をお願いします。	③	①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化のうち、⑥ジュニア選手拡大のための発掘の中の「ジュニア選手層の拡大に向けて、競技スポーツの情報発信に取り組むとともに、小中学生を対象として、発掘のための体験・育成プログラムの実施や体力測定等のイベントを行い、ジュニア選手の発掘を進めます。」、及び②成年選手の育成・強化のうち、⑥未普及競技の育成支援の中の「全国大会等で実績の少ない競技や、県内での普及が十分でない競技に対する普及・強化対策を行うことで県全体のレベルアップにつながります。」において、対応したいと考えています。	
18	5. 競技力向上のための取組	P 22	企業やクラブチームに対して選手の確保等を要請するのはいいが、県はどうするのか、スポーツ特別選考も指導者として採用するとすれば、さらに現役選手の獲得も必要である。教員の適正配置についても、明示することはいいことだが、実際できていない状況をどう説明するのか。	③	③指導者の養成・確保のうち、⑥学校運動部指導者の配置等の中の「強化指定運動部を中心として中学校、高等学校の運動部強化のため、すぐれた指導力を有する教職員について、その専門性に配慮した異動、配置を進めていくとともに、スポーツ特別選考での採用教員についても同様の配置に努めます。」において、対応を考えていきます。	
19	5. 競技力向上のための取組	P 23	県民も応援していることを、選手も実感できる取り組みを行うべきだと思います。	③	⑤しくみづくりのうち、⑥強化活動支援の広報の中の、「選手の強化活動を支援するために、活動援助の募集等、選手を支えるためのしくみが活かされるような広報を行います。」、及び③「スポーツ」と「支える」企業・団体、人をつなぐ活動の展開の中の「アスリートを積極的に採用している企業や、多くの人をサポートして運営されているクラブチーム等の魅力をより積極的に発信し、スポーツの持つ可能性を活かそうとする風土づくりに取り組みます。」において、対応したいと考えています。	

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
20	5. 競技力向上のための取組	P 23	企業にも地域貢献のひとつとして、地域スポーツへの寄与を求めていくべきだと思います。	③	⑤しくみづくりのうち、◎「スポーツ」と「支える」企業・団体、人をつなぐ活動の展開の中の「アスリートを積極的に採用している企業や、多くの人々がサポートして運営されているクラブチーム等の魅力をより積極的に発信し、スポーツの持つ可能性を活かそうとする風土づくりに取り組みます。」において、対応したいと考えています。	
21	5. 競技力向上のための取組	P 23	県民にも競技選手への支援のための募金を求めていますでしょうか。	③	⑤しくみづくりのうち、⑥強化活動支援の広報の中の「選手の強化活動を支援するために、活動援助の募集等、選手を支えるためのしくみが活かされるような広報を行います。」において、対応したいと考えています。	
22	5. 競技力向上のための取組	P 23	企業も昭和50年のときには、非常に積極的であったが、今は違う。早くこのことを企業等に発信していく必要がある。	③	⑤しくみづくりのうち、◎「スポーツ」と「支える」企業・団体、人をつなぐ活動の展開の中の「アスリートを積極的に採用している企業や、多くの人々がサポートして運営されているクラブチーム等の魅力をより積極的に発信し、スポーツの持つ可能性を活かそうとする風土づくりに取り組みます。」において、対応したいと考えています。	
23	5. 競技力向上のための取組	P 23	やるべき事に連携も多いので、早めにこういったことを企業や全体に発信しないとたない。	③	⑤しくみづくりのうち、◎「スポーツ」と「支える」企業・団体、人をつなぐ活動の展開の中の「アスリートを積極的に採用している企業や、多くの人々がサポートして運営されているクラブチーム等の魅力をより積極的に発信し、スポーツの持つ可能性を活かそうとする風土づくりに取り組みます。」において、対応したいと考えています。	





「競技力向上対策基本方針」中間案に対する主な意見とその対応(審議会)【抜粋】

別紙4

「対応」欄の説明

- ①最終案に反映するもの
- ②最終案に一部反映するもの
- ③既に反映しているもの

- ④最終案への反映は難しいが、今後の検討課題、参考とするもの
- ⑤最終案に反映することが難しいもの
- ⑥その他(①～⑤に該当しないもの)

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
1	1. 三重県競技力向上対策基本方針の策定趣旨	P1	策定趣旨にある地域との関わりを具体的に示すべきである。	①	市町における競技力支援の気運醸成等については、別途国体開催準備業務の中で取組を進めるとともに、第5章の⑤しくみづくりの中に県民の間でスポーツに対する理解と支援が広がっていくことを目指した取組をすすめる旨、記載を充実しました。	P23に 追記
2	4. 新しい組織の整備と推進体制	P19	障がい者が、どこでも、いつでも体を動かせる機会を増やすことが、障がい者の競技力向上につながる。	④	障がい者スポーツも含めた広い意味で障がい者施策の充実を担当部局に検討を働きかけてまいります。	
3	5. 競技力向上のための取組	P21	競技力の向上に絞るのではなく、広く子どもの体力向上を図る取組を行う中で、競技力の向上を図る視点が必要である。具体的には、ジュニア発掘・育成でスポーツに親しむ、触れる機会を与えるような仕組みが必要である。	③	第5章の①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中に、体力向上やスポーツにふれる機会づくりに取り組んでいく旨の記載があり、この中で対応していきます。	
4	5. 競技力向上のための取組	P21～ P23	ジュニアの育成というのは、幼稚園の頃からの運動が大切である。スポーツをする側、支援する側、応援する側、いろいろな立場の人を巻き込んでいくべきである。 また、スポーツをする側だけでなく、周りの意識を高めることも大切で、特に大学や企業の協力体制が重要だと思う。	①	ジュニア期における周囲の支援の重要性についていただいた指摘に鑑み、第5章①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中で保護者に対する理解を促していく旨の記載を加えました。 また、大学や企業等との連携については、②成年選手の育成・強化の中の記述や⑤しくみづくりの中の記述において、対応してまいります。	P21に 追記

番号	区分	頁	中間案に対する意見内容	対応	最終案への反映状況・考え方	備考
5	5. 競技力向上のための取組	P23	スポーツはするだけでなく、支える、見るといった側面もある。開催県が勝つことは大切だと思うが、国体が終わってから、何を残すか、何を残したいかの方策が必要である。	②	国体が終わっても、支える、見るといった支援や理解の必要性についていただいた指摘を受け、第5章⑤しくみづくりにその趣旨を記載しました。	P23に追記
6	5. 競技力向上のための取組	P21	国体で活躍するという夢を、子どもたちに与えるようなPR活動をする必要がある。	①	ジュニア選手拡大のための取組として、第5章①ジュニア及び少年選手の発掘・育成・強化の中に情報発信の取組を記載しました。	P21に追記
7	5. 競技力向上のための取組	P23	県民が全体で盛り上がっていくようなムードづくりをしてもらいたい。	⑥	第5章⑤しくみづくりの中でいただいた意見の趣旨に沿って対応していきます。また、国体開催準備の中でも、国体の気運を盛り上げる取組を行うこととしており、今後、県民運動等で、ご意見に沿った取組も検討していきます。	
8	5. 競技力向上のための取組	P23	仕組みづくりのところで、県民全体が関われる幅広いものとしてもらいたい。	③	第5章⑤しくみづくりの③三重県代表選手「チームみえ」の広報の中で「県民全体で支えていく気運を情勢する」こととしており、この中で対応していきたいと考えています。	

## 1 国体開催への情報発信の取組について

### 1 現状の取組について

県では、本年8月31日に国民体育大会三重県準備委員会を開催し、開催準備に着手したところですが、県民の皆さんにも国体の本県開催の内々定などについて幅広く情報発信するため、以下のような取組を行っているところです。

#### (1) 県民ホールでのパネル展示（資料1）

三重県出身のスポーツ著名人による国体開催応援メッセージをパネルにし、県民ホール等で展示しています。

#### (2) 各種イベントにおける国体開催の情報発信

県主催のイベントなどにおいて、上記のパネル展示を行い、来訪者の方々に国体の本県開催などについて周知を図っています。

本年度は、昨日開催された「吉田沙保里選手国民栄誉賞受賞県民報告会」でも、吉田選手の応援メッセージも含めてパネル展示を行ったところです。

#### (3) 県ホームページでの国体周知（資料2）

三重県ホームページでスポーツ推進局の中に、国体の項目を掲載し、その概要を周知しています。

また、毎年の国体で入賞した選手の一覧等を掲載し、三重県を代表して活躍した選手などをPRしています。

#### (4) 三重県のスポーツ推進スローガンの募集（資料3）

国体の愛称やマスコットの等の制定は、日本体育協会規定に基づく承認事項であるため、現時点では国体に特化したスローガンの使用が難しく、幅広く県のスポーツ推進とともに国体の気運を盛り上げるためのスローガンを、現在、県民の方々から募集しています。

### 2 今後の取組について

来年度には、国民体育大会準備委員会の中に、「広報・県民運動専門委員会」を設置し、広報基本計画や県民運動基本計画の策定など、国体の情報発信の強化と、国体運営に向けての県民意識の醸成に努めてまいります。



## 三重県出身スポーツ著名人における国体開催応援メッセージ

(三重県庁 1階ロビー)

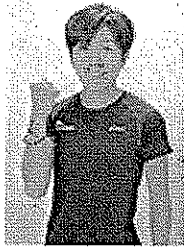


これまで功績があった  
三重県出身のスポーツ  
著名人より、平成33年  
開催の第76回国民体  
育大会に向けて応援メ  
ッセージをいただいで  
います!

- 野口 みずきさん：陸上競技マラソン  
2004年アテネオリンピック女子マラソン優勝
- 小椋 久美子さん：バドミントン競技  
2008年北京オリンピック女子ダブルス5位入賞
- 瀬古 利彦さん：陸上競技マラソン  
1983年東京国際マラソン優勝  
(2時間8分38秒当時日本最高記録)
- 笠松 茂さん：体操競技  
1972年ミュンヘンオリンピック  
体操男子団体優勝 個人総合5位

## 第76回国民体育大会 開催に向けて

陸上競技マラソン 野口 みずき さん



**<プロフィール>**  
 三重県伊勢市出身  
 三重県立宇治山田商業高等学校卒業  
 3000mでインターハイに出場。駅伝でも活躍  
 2002年名古屋国際女子マラソン優勝  
 2003年大阪国際女子マラソン優勝  
 2003年世界選手権ハリス大会2位  
 2004年アテネオリンピック女子マラソン優勝  
 2005年ベルリンマラソン優勝  
 日本記録及びアジア記録樹立  
 (2時間19分12秒)  
 2007年東京国際女子マラソン優勝  
 (翌2008年北京五輪代表内定)  
 2012年名古屋ウィメンズマラソン6位

### <メッセージ>

平成33年に第76回国民体育大会が、三重県で開催されると聞き、たいへんうれしく思っています。

私は、三重県伊勢市出身で、三重県立宇治山田商業高等学校を卒業するまで、三重で過ごしていました。その後、社会人になり三重を離れましたが、アテネオリンピックで「金メダル」を取ることができたのも、幼い頃から高校まで、三重で指導して下さった先生方のご指導のおかげだと思っています。

国民体育大会が、三重県で開催されることで、三重県が大いに盛り上がり、スポーツが盛んに、また、活性化されることを期待しています。

また、国民体育大会の開催によって、将来、子どもたちが国内のトップアスリートになったり、オリンピック選手になったりすることを期待しています。

平成33年の国民体育大会が、皆さんの思い出に残る素晴らしい大会となるように、心から応援しています。皆さんもがんばりましょう。

がんばれ！  
 三重のアスリート  
 Systemex  
 の応援  
 みずき

## 第76回国民体育大会 開催に向けて

バドミントン競技 小塚 久美子 さん



**<プロフィール>**  
 三重県三重郡川越町出身。川越町立川越中学校卒業  
 四天王寺高等学校(大阪府)卒業  
 三洋電機入社。同社バドミントン部所属  
 2002年全日本総合バドミントン選手権シングルス優勝  
 2003年全日本総合女子ダブルス準優勝  
 2004年全日本総合女子ダブルス副優勝  
 (兼職。2003年まで同大会5連覇)  
 2005年アジア選手権女子ダブルス準優勝  
 2006年第15回アジア大会ダブルス3位。団体準優勝  
 2007年世界選手権ダブルス3位  
 2008年北京オリンピック女子ダブルス5位入賞  
 2010年現役引退

### <メッセージ>

平成33年第76回国民体育大会が、三重県で開催されると聞き、たいへんうれしく思っています。おめでとうございます。

私は、川越町で生まれ、川越中学校まで三重県で過ごしていました。その後、高校進学とともに三重県を離れましたが、北京オリンピックに出場できたのも、今までご指導下さった先生方のおかげだと、心から感謝しています。

国民体育大会が三重県で開催され、子どもたちが国内のトップアスリートを目指す機会となり、将来オリンピック選手が生まれ、三重県が大いに盛り上がり、三重のスポーツがより一層盛んに、そして強くなることを期待しています。

国民体育大会には、全国から多くの方が訪れます。交流の輪を広げ、豊かな自然、食、文化など、三重県の魅力を全国にアピールしてください。

平成33年の国民体育大会が、皆さんの思い出に残る素晴らしい大会となるよう、皆さんとともに盛り上げていきたいと思います。私も応援しています。

がんばれ！  
 三重のアスリート  
 小塚

## 第76回国民体育大会 開催に向けて

陸上競技マラソン 藤古 利彦 さん



**<プロフィール>**  
 三重県桑名市出身。三重県立四日市工業高等学校卒業  
 早稲田大学卒業  
 1978-80年、83年福岡国際マラソン優勝  
 1981年、87年ボストンマラソン優勝  
 1983年東京国際マラソン優勝  
 (2時間35分38秒。当時日本最速記録)  
 1984年ロサンゼルスオリンピック代表  
 1985年ロンドンマラソン優勝  
 1986年シカゴマラソン優勝  
 (2時間34分27秒。自己ベスト)  
 1988年ソウル毎日マラソン優勝  
 ソウルオリンピック代表  
 (公称)日本陸上競技連盟理事、東京都教育委員

### <メッセージ>

平成33年第76回国民体育大会が、三重県で開催されると聞き、たいへん喜んでます。わが国の最大のスポーツの祭典です。本当におめでとうございます。

私は、三重県立四日市工業高校の出身で、三重県で開催されたインターハイや、国民体育大会に県代表として出場し、優勝もしました。これは、三重県でインターハイや団体が開催されるため、選手強化をしていただき、高校の先生やいろいろな方々から教えを受けた賜だと思っています。

国民体育大会は、全国から多くの方が集まります。選手は、地元の人々の笑顔や優しさに励みながら、気持ちよく競技をすることが目的のひとつです。日本中のアスリートを笑顔や優しさで迎えてください。そして、三重県に来てよかったなど、一人でも多くの方が知るような大会にしてください。

皆さんの思い出に残る素晴らしい大会となりますよう、いっしょに盛り上げていきましょう。私も応援しています。

がんばれ！！  
 三重のアスリート  
 藤古 利彦

## 第76回国民体育大会 開催に向けて

体障競技 笠越 茂 さん



**<プロフィール>**  
 三重県熊野市出身。三重県立木本高等学校卒業  
 中央大学体育学部卒業  
 1972年ミュンヘンオリンピック  
 体障男子団体優勝。個人総合5位  
 「カサマン附び」で知られる  
 1974年世界選手権(ヴァルナ)  
 団体。個人総合。種目別(障害・ゆか)優勝  
 1977年全日本選手権個人総合優勝  
 2005年障者教育委員  
 2007年団体体障検定入り  
 現在は、東海テレビ東名体障クラブの代表として後進の指導にあたる

### <メッセージ>

平成33年「第76回国民体育大会」の三重県での開催、おめでとうございます。

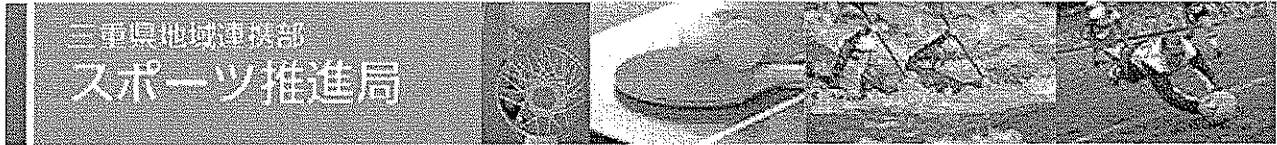
私は、三重県熊野市出身で、木本高校を卒業するまで、三重県で過ごしました。小さい頃から体を動かすことが好きで、海や川、山など自然の中で遊んでいました。中学校に入り、体障専門の先生が担任され、体障部ができたのがきっかけで始めました。大学進学のため、三重県を離れましたが、ミュンヘンオリンピックに出場し、金・銀・銅メダルを獲得できたのも、中学校での体障競技との出会いや、中学、高校の先生方や先輩方のご指導があったからこそ感謝しています。また、昭和50年の三重県体に出場し、開会式では選手宣誓の大役を務めました。

現在は、愛知県長久手市で「東海テレビ東名体障クラブ」の代表として、体障の指導をしています。

国民体育大会の開催を契機に、三重県のスポーツが盛んになり、オリンピックに出場するなど、世界に羽ばたく選手が増えてくれればと思います。特に、子どもたちがいるようなスポーツを身近で見ることが、興味を持って何か競技を始められるきっかけになってくれたらと思います。

平成33年の国民体育大会が、素晴らしい大会となるよう、皆さん力を合わせて、がんばってください。

頑張れ！！  
 三重のアスリート  
 笠越



地域のスポーツ

- 県内のスポーツイベント
- みえ広域スポーツセンター
- 統合型地域スポーツクラブ
- 指導者紹介  
(スポーツリーダーバンク)
- スポーツ推進委員

スポーツ施設

- 県営スポーツ施設
- 県内スポーツ施設一覧

競技スポーツ

- 各種大会成績
- みえの競技力向上の取り組み
- みえのトップアスリート

国民体育大会

- 国民体育大会とは
- 国民体育大会三重県準備委員会

三重県スポーツ推進審議会

各種計画・方針等

体力・運動能力調査



トップページ > 国民体育大会 > 国民体育大会とは

国体の目的

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものです。

開催概要

都道府県対抗、各都道府県持ち回り方式で毎年開催され、昭和36年(1961)からは、国のスポーツ振興法に定める重要行事の一つとして、(公財)日本体育協会、文部科学省、開催地都道府県の三者共催で行われています。

※平成23(2011)年からは、スポーツ基本法第26条に定められています。

実施対象競技

冬期大会を除く実施競技は、「1. 正式競技」、「2. 公開競技」、「3. デモンストレーションスポーツ」、「4. 特別競技」があります。

1. 正式競技(37競技)

(1) 毎年実施競技(36競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 隔年実施競技(2競技のうちから1競技)

銃剣道、クレー射撃  
※クレー射撃が平成26年3月末までに正式競技の対象とならなかった場合は、銃剣道競技を毎年実施競技とする。

2. 公開競技(5競技)

綱引、武術太極拳、パワーリフティング、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ  
※「国民体育大会公開競技実施基準」に基づき、当該中央競技団体が主体となり、三重県の合意を得たうえで実施する。



(参考) 本年度開催 岐阜県による広報運動の一例

国体マスコットキャラクター「ミナモ」を定め、ホームページやパンフレットへの掲載、着ぐるみを利用したイベントへの出演、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会ソング「はばたけ、未来へ」の作成やソングとリンクしたミナモダンスによる周知、広報活動などを平成 20 年から実施しています。





## 平成33年第76回国民体育大会

昭和50年に開催された「みえ国体」以来、46年ぶりに三重県での国民体育大会の開催が内々定されました。

### 【経緯】

平成23年11月15日に三重県知事、三重県教育委員会、(財)三重県体育協会長の連名で、公益財団法人日本体育協会および文部科学省に平成33年第76回国民体育大会開催要望書を提出し、平成24年1月11日、(公財)日本体育協会の理事会において、平成33年第76回国民体育大会の三重県開催が内々定されました。

今後は、平成33年の本県での国民体育大会開催に向けて、準備委員会を設立するなど、開催準備に取り組んでいきます。

## 近年の国民体育大会開催状況

開催年	回数	開催地	会期
2012年(平成24年)	第67回本大会	岐阜県	9/29～10/9
2013年(平成25年)	第68回本大会	東京都	9/28～10/8
2014年(平成26年)	第69回本大会	長崎県	10/12～22
2015年(平成27年)	第70回本大会	和歌山県	9/26～10/6
2016年(平成28年)	第71回本大会	岩手県	
2017年(平成29年)	第72回本大会	愛媛県	
2018年(平成30年)	第73回本大会	福井県	
2019年(平成31年)	第74回本大会	茨城県	
2020年(平成32年)	第75回本大会	鹿児島県	
2021年(平成33年)	第76回本大会	三重県	

## 昭和50年みえ国体の開催状況

- 大会名  
第30回国民体育大会(夏季大会・秋季大会)
- スローガン  
たくましくあすをひらこう
- 開催時期及び開催市町村  
夏季大会(昭和50年 9月14日～17日)[3競技・3市町]  
秋季大会(昭和50年10月26日～31日)[27競技・19市町村]
- 開・閉会式  
夏季大会 四日市市水泳競技場(四日市市)  
…開会式 4,396名 閉会式 3,976名  
秋季大会 三重県営総合競技場陸上競技場(伊勢市)  
…開会式 31,423名 閉会式 25,570名

5. 参加者数(監督・選手・本部役員)

夏季大会 3,514人  
 秋季大会 17,655人

6. 実施競技・会場一覧

	競技	会場
夏季	水泳	四日市市 市水泳競技場 他
	漕艇	大台町 奥伊勢湖漕艇場
	ヨット	津市 伊勢湾海洋スポーツセンター
秋	陸上	伊勢市 県営総合競技場陸上競技場
	サッカー	上野市 市営運動公園サッカー場
	テニス(庭球)	四日市市 三滝公園テニスコート
	ホッケー	鈴鹿市 鈴鹿青少年スポーツセンター
	ボクシング	久居市 市体育館
	バレーボール	鈴鹿市 市立体育館 他
	体操	四日市市 市体育館
	バスケットボール	津市 津市体育館 他
	レスリング	伊勢市 県営総合競技場体育館
	ウエイトリフティング	亀山市 市体育館
	ハンドボール	四日市市 四日市高校 他
	自転車	松阪市他 市営競技場 他
	ソフトテニス(軟式庭球)	伊勢市 市営庭球場
	卓球	桑名市 東洋ベアリング体育館
季	軟式野球	伊勢市・四日市市 倉田山公園野球場 他
	相撲	鳥羽市 中央公園相撲場
	馬術	鈴鹿市 県馬術競技場
	柔道	名張市 名張高校体育館
	ソフトボール	松阪市 市営グラウンド 他
	フェンシング	鳥羽市 市民体育館
	バドミントン	松阪市 松阪高校体育館
	弓道	伊勢市 神宮弓道場 他
	ライフル射撃	津市・久居市 県ライフル射撃場 他
	剣道	尾鷲市 市体育文化会館
	ラグビーフットボール	久居市 雲出川緑地公園ラグビー場他
	山岳	尾鷲市他 台高山系
高校野球	津市・熊野市 津球場公園内野球場 他	
スポーツ芸術	津市 県文化会館 他	

[ページのトップへ戻る](#)

問い合わせ先:三重県 地域連携部 スポーツ推進局

・スポーツ推進課 (電話)059-224-2986、2985 (FAX)059-224-3022 (E-mail)sports@pref.mie.jp

・国体準備課 (電話)059-224-2998 (FAX)059-224-3022 (E-mail)kokutai@pref.mie.jp

# 三重県のスポーツ推進スローガンを募集しています

三重県におけるスポーツ活動を一層進めるため、県民の皆さんから三重県のスポーツ推進の旗印となるスローガンを募集しますので、ふるってご応募ください。

## 募集要項

### 募集するスローガン

地域スポーツの推進、競技力の向上、平成33年の国体開催などスポーツを通じた活力に満ちた元気な三重県をつくるため、スポーツを推進するためのスローガンを募集します。

#### (参考事例)

- 輝け はばだけ だれもが主役 (2012ぎふ清流国体)
- 出会い 競い そして未来へ (1993東四国国体)
- "Discover Tomorrow" 未来(あした)をつかもう (東京五輪招致委員会)

### 応募方法

- 必要事項を記入のうえ、右記のハガキ、ホームページ(電子申請システム)、電子メール又はFAXのいずれかの方法で応募してください。
- ホームページアドレス  
<http://www.pref.mie.lg.jp/D1SPORTS/>
- 応募スローガン及びそのスローガンの簡単な趣旨、内容の説明を記載してください。
- 応募者の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業(又は学校名)を必ず記載してください。
- 1人何点でも応募できますが、自作で未発表のものに限ります。

### 応募にあたっての留意事項

- 入賞作品については、三重県のスポーツ推進に関する事業のほか、県内スポーツ関係機関や団体などが実施するスポーツ推進の取組において幅広く利用します。また、入賞作品については、補作する場合があります。
- 入賞作品の著作権、商標権その他一切の権利は、三重県に帰属することとします。
- 応募作品は自作で未発表のものとし、著作権等に関わる問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。
- 応募作品は、返却いたしません。
- 住所、氏名、年齢、電話番号等の個人情報については、今回のスローガン募集の目的以外には使用いたしません。

### 募集期間

平成24年12月上旬～平成25年1月31日(木)

### 選定及び賞品

応募いただいたスローガンについては、県において審査を行い、最優秀賞(1選)及び優秀賞(3選程度)を決定します。選定後は直接本人に連絡するとともにホームページ等で発表し、賞状及び賞品を贈呈いたします。

- 最優秀賞** 賞状・賞品(スポーツ用品 3万円相当)
- 優秀賞** 賞状・賞品(スポーツ用品 1万円相当)

### 問い合わせ先

〒514-8570 三重県津市広明町13  
 三重県地域連携部スポーツ推進局国体準備課内  
 スポーツ推進スローガン募集担当  
 (電話) 059-224-2998  
 (FAX) 059-224-3022  
 (E-mail) kokutai@pref.mie.jp

郵便はがき

お手数ですが  
50円切手をお貼りください

5 1 4 - 8 5 7 0

三重県津市広明町13  
 三重県 地域連携部 スポーツ推進局 国体準備課内

スポーツ推進スローガン募集担当 行

応募スローガン			
応募スローガンの説明			
氏名	フリガナ	フリガナ	
	姓	名	
住所	〒	都 道 市 区 村	府 県 町 村
電話	年齢	職業 (学校名)	



## 2 第 76 回国民体育大会の開催準備について

### 1 現状

平成 33 年に本県で開催することが内々定している国民体育大会に向けて、去る 8 月 31 日（金）、四日市都ホテルにて第 76 回国民体育大会三重県準備委員会の設立総会、第 1 回総会及び第 1 回常任委員会を開催しました。

このことを受けて、10 月 15 日（月）に第 1 回総務企画専門委員会を、10 月 16 日（火）に第 1 回施設専門委員会を設置しました。

また、10 月 19 日（金）に第 1 回市町連絡調整会議、及び第 1 回競技団体連絡調整会議を合同で開催しました。

なお、この会議には、教育委員会保健体育課も同席し、平成 30 年に本県を中心とした東海ブロックで開催予定の全国高等学校総合体育大会の準備状況等についても説明しました。

#### (1) 第 1 回総務企画専門委員会について（別紙 1）

国民体育大会の開催概要、開催準備経過や準備委員会第 1 回総会、及び第 1 回常任委員会における決定事項について、報告しました。

その後、「会場の選定に向けた取組に係る基本的な考え方」について審議・決定しました。

#### (2) 第 1 回施設専門委員会について（別紙 2）

国民体育大会の開催概要、開催準備経過や準備委員会第 1 回総会、及び第 1 回常任委員会並びに第 1 回総務企画専門委員会における決定事項について、報告しました。

その後、「競技施設基準」について審議・決定しました。

#### (3) 第 1 回市町連絡調整会議、及び第 1 回競技団体連絡調整会議（別紙 3、4）

市町並びに競技団体連絡調整会議の設置や準備委員会の概要等についての報告とともに、「会場の選定に向けた取組に係る基本的な考え方」について説明し、市町、及び競技団体に対して、会場選定の作業に着手するよう要請しました。

### 2 課題

各専門委員会において、会場の選定に向けた取組に係る基本的な考え方や競技施設基準が審議・決定されました。

今後は、市町や県体育協会、各競技団体等の関係機関・団体と十分協議しながら、会場市町の選定を進めていく必要があります。

### 3 今後の対応

- |              |   |
|--------------|---|
| 12 月 21 日（金） | 市町や競技団体の会場意向の取りまとめ                      |
| 1～2 月        | 現地調査やヒアリング等、会場の選定作業                     |
| 3～4 月（予定）    | 国体準備委員会第 2 回総務企画専門委員会において、第 1 次会場選定案の審議 |
| 4～5 月（予定）    | 国体準備委員会第 2 回常任委員会において、第 1 次会場選定案の審議・決定  |



## 第76回国民体育大会 会場の選定に向けた取組に係る 基本的な考え方について

### 1 会場選定に係る基本事項（【参考】参照）

- (1) 第76回国民体育大会 会場市町選定基本方針
- (2) 第76回国民体育大会 会場市町選定基準

### 2 会場の選定について

#### (1) 競技会場となる市町及び競技団体

##### ① 正式競技（37競技）、特別競技（1競技）

内定申請に向けて必要な準備期間を確保するため、できる限り早期に選定していくこととします。

##### ② 公開競技（5競技）、デモンストレーションスポーツ

競技団体の開催意向を踏まえた上で、市町と協議のうえ、正式・特別の各競技が決定後に選定していくこととします。

#### (2) 開会式、閉会式会場

内定申請に向けて必要な準備期間を確保するため、できる限り早期に選定していくこととします。

### 3 競技会場選定（第1次選定）における考え方

第1次選定にあたっては、

- ① 市町と競技団体との意向が合致していること。
- ② 施設、交通、宿泊など実際の運営に必要な環境が整っており、開催が可能であると見込まれること。
- ③ 競合市町がないこと。

の3点を選定の基本要件としていきます。

### 4 競技会場選定（第1次選定）までの進め方

#### (1) 市町開催意向調査、競技団体会場意向調査の実施（提出〆切12月21日）

#### (2) 意向調査に基づく市町・競技団体ヒアリングの実施（1～2月）

意向調査の結果を踏まえ、各市町・各競技団体の意向の詳細、競技会開催の企画内容等を聞き取ります。

#### (3) ヒアリングの結果を踏まえた第1次会場選定案の作成（2月予定）

市町と競技団体の意向が合致したものについて、開催に必要な施設、交通、宿泊など選定条件の適合を確認した上で、競合市町のないものを第1次会場選定案とします。

この時点で選定されなかった競技については、第2次会場選定に向けて、市町や競技団体との調整に入ります。

#### (4) 第1次会場選定案の対象市町・競技団体に対する事前了解依頼（2月～3月予定）

第1次会場選定案として選定された競技については、会場となる市町及び当該競技団体に事前に文書で了解を得ます。

#### (5) 第1次会場選定案の審議（3月～4月予定）

第2回総務企画専門委員会において、第1次会場選定案を審議していただきます。

#### (6) 第1次会場選定案の審議・決定（4月～5月予定）

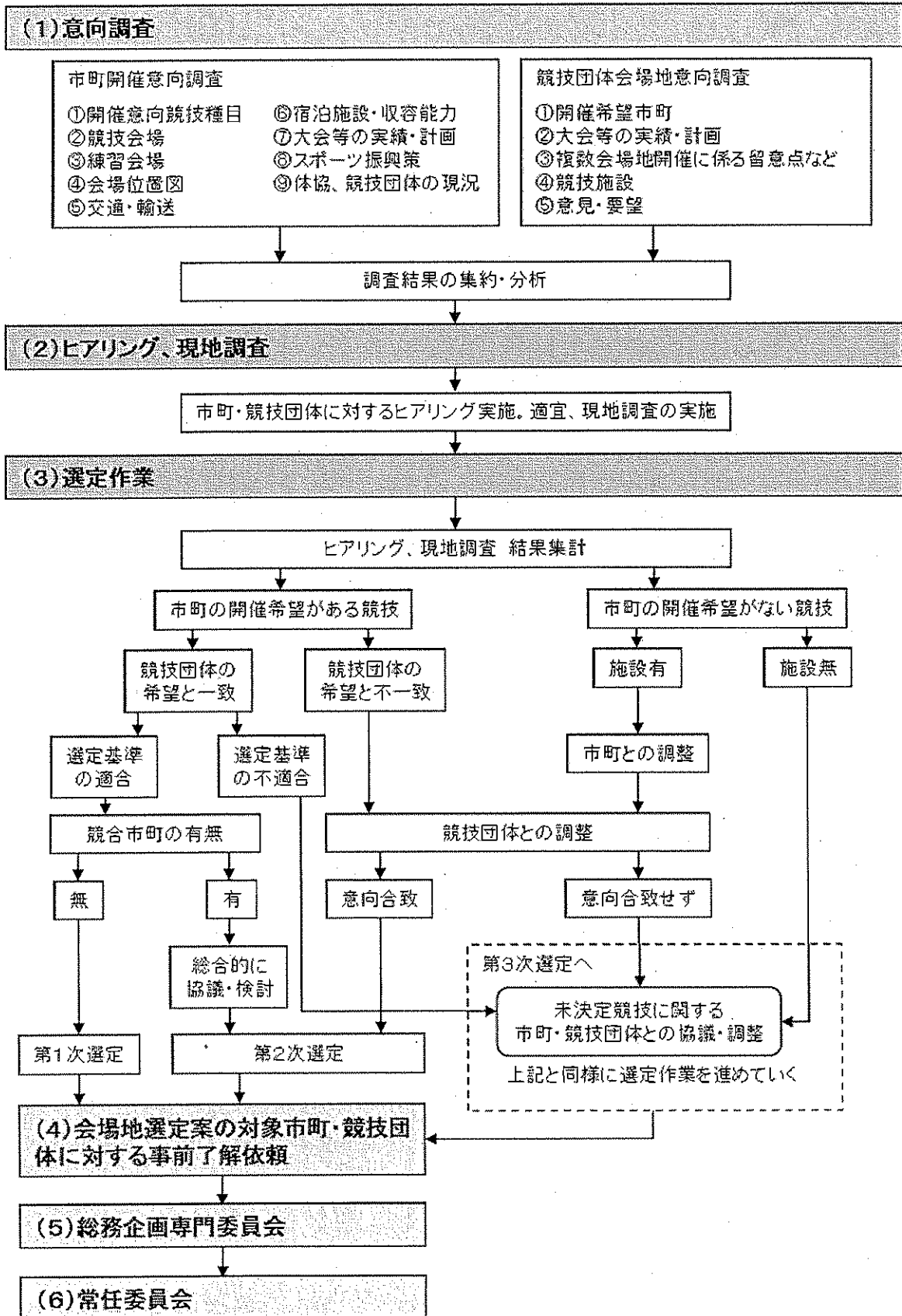
第2回常任委員会において、第1次会場選定案を審議・決定していただきます。



5 第1次選定以降の進め方

第1次選定に向けて実施してきた調査やヒアリングの結果等を踏まえ、市町並びに競技団体と次の選定に向けた個別のヒアリングを行うなど、協議・調整を行っていきます。  
(開催希望の変更についても次の選定に向けたヒアリングで確認をします)

【会場地選定フロー】



## 【参考】第76回国民体育大会 会場地市町選定基本方針

第76回国民体育大会（以下「大会」という。）における会場地は、地方におけるスポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的とする国民体育大会の趣旨並びに第76回国民体育大会開催基本方針に基づき、次のとおり選定する。

- 1 全市町において、正式競技、公開競技、デモンストレーションスポーツ、特別競技のいずれかの競技のうち、1競技以上開催することを原則とする。
- 2 同一競技は、同一市町で行うことを原則とするが、2市町以上で開催する場合は、可能な限り近隣市町で行うこととする。
- 3 競技施設については、原則として、既存施設を活用し、「国民体育大会開催基準要項細則（公益財団法人日本体育協会）」で定める施設基準を満たす施設が県内にあるものについては、当該施設の所在する市町の中から選定することとする。
- 4 会場地の選定にあたっては、市町の開催希望や当該希望競技に係る各種競技会の開催実績・大会後の普及振興に向けた考え方、開催準備・大会運営への積極性などの開催希望競技に対する市町及び住民の熱意を重視するとともに、実施競技団体の意向並びに競技施設の状況、宿泊受入能力、交通の利便性、その他地域の実情・特性等を考慮し、総合的に判断することとする。



## 【参考】第76回国民体育大会 会場地市町選定基準

第76回国民体育大会（以下「大会」という。）における会場地市町及び開・閉会式会場は、第76回国民体育大会会場地市町選定基本方針に基づき、次により選定する。

### 1 選定の対象

開・閉会式会場のほか、正式競技と特別競技の会場地とする。

なお、公開競技、デモンストレーションスポーツについては、別途選定する。

### 2 選定の基準

次の基準を基本に、総合的な判断、評価のもと選定する。

#### (1) 競技会場地

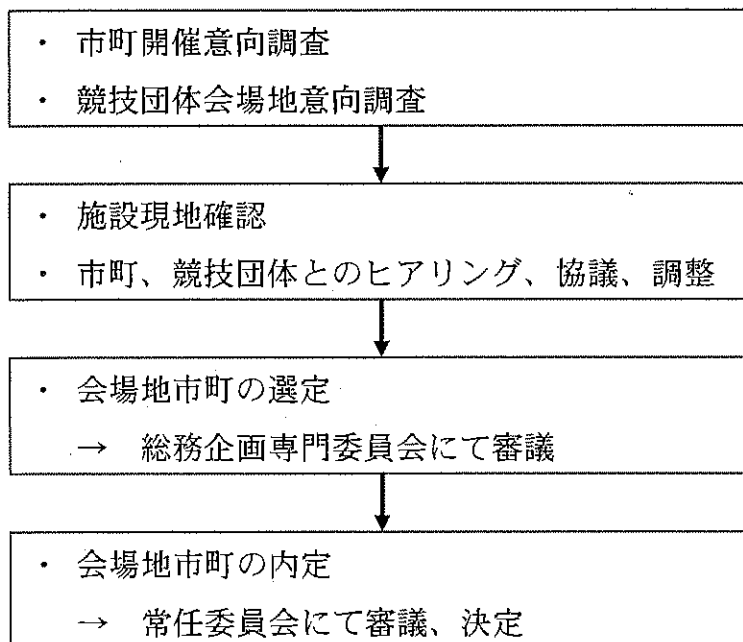
- ① 市町の開催希望と競技団体の意向が原則として合致していること。
- ② 同一競技を複数の市町に分けて実施する場合や開催希望が競合する場合は、大会運営に支障をきたさないようにするとともに、地域のバランスに配慮すること。
- ③ 競技施設は、原則として既存施設を活用することとし、施設の新設・改修等にあたっては、大会開催後の地域スポーツ推進への有効的な活用を考慮するとともに、「国民体育大会開催基準要項細則（公益財団法人日本体育協会）」で定める施設基準（以下、「施設基準」という）を満たすものであること。  
なお、施設基準については、対象となる施設の整備状況等を考慮した上で、弾力的な運用を関係機関に対し要請する。
- ④ 競技役員等の確保、付帯施設（観客席、駐車場、練習会場等）の整備、大規模大会の実績、地域住民のボランティアとしての参画など、大会運営に必要な環境や実績、体制等が十分整えられること。
- ⑤ 選手・役員の輸送、交通手段及び宿舎を確保できること。
- ⑥ 国体開催に対する熱意があり、開催希望競技をはじめとする開催後のスポーツ振興に積極的に取り組む意欲を有すること。

## (2) 開・閉会式会場

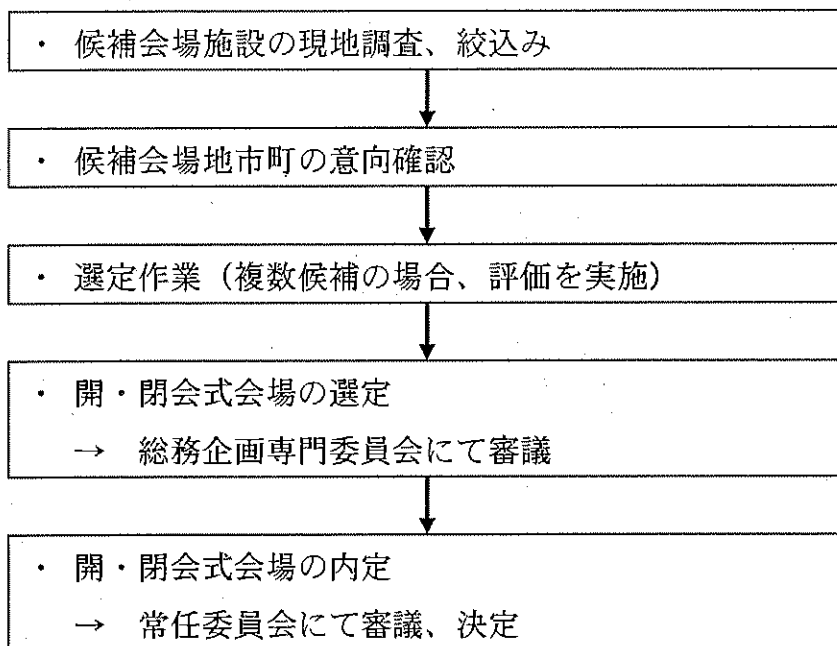
- ① 会場地となる市町から開催に必要な協力が得られること。
- ② 会場は、原則として既存施設を活用することとし、施設基準を満たすものであること。  
なお、施設基準については、対象となる施設の整備状況等を考慮した上で、弾力的な運用を関係機関に対し要請する。
- ③ 会場周辺に駐車場等の用地や仮設テント等のスペースが確保できること。
- ④ 多数の参集者が短時間で集まることのできる輸送・交通手段が確保できること。
- ⑤ 会場周辺に相当の宿泊受入能力があること。

## 3 選定の手続き（概要）

### (1) 競技会場地



(2) 開・閉会式会場





## 第 7 6 回国民体育大会 競技施設基準（案）について

## 1 競技施設基準策定の目的

第 7 6 回国民体育大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進することを目的に策定するものです。

とりわけ会場地市町の選定に際して、各市町が各自の地域で競技会の開催運営を検討するにあたり、その会場施設や練習会場として求められる要件を確認するために活用するものとします。

## 2 競技施設基準について

(1) この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第 2 項に規定する施設基準および各競技の競技規則ならびに先催県の例等に基づき定めるものです。

(2) この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとします。

## 3 審議すべき事項

競技施設基準（案）の審議

会場地施設の要件を確認するための基礎資料として市町に提供します。

## 4 施設基準の変更について

この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改訂にともない、随時変更するものとします。

なお、変更の内容については、次の当専門委員会にて報告します。

## 5 今後の審議予定

当専門委員会では今度、開催年度までに競技施設基準のほか、開・閉会式会場はじめ各種競技会会場の整備計画についても審議いただく予定です。





## 第 7 6 回国民体育大会市町開催希望調査実施要項（抜粋）

第 7 6 回国民体育大会三重県準備委員会事務局

## 1 調査目的

各市町の競技会開催希望や競技会場、交通事情や宿泊施設等、その他関連する事項を調査し、選定業務の参考とします。

## 2 調査対象競技

第 7 6 回国民体育大会において実施する正式競技（毎年実施競技・隔年実施競技）及び特別競技は、次のとおりです。

## ○ 毎年実施競技 36 競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、※軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、※なぎなた、ボウリング、ゴルフ、※トライアスロン  
 <※ 第74回国民体育大会(茨城大会)から毎年実施競技となる競技>

## ○ 隔年実施競技 1 競技

銃剣道、（※クレ射撃）  
 ※ クレー射撃競技については、平成26年3月までの当該競技団体の状況により正式競技の対象となる場合があります。その場合、同競技については 隔年実施競技の対象となります。  
 また、同競技が平成26年3月末までに正式競技の対象とならなかった場合、銃剣道競技は毎年実施となります。

## ○ 特別競技 1 競技

高等学校野球（硬式・軟式）

## 3 調査内容

- (1) 開催希望及び開催希望競技
- (2) 競技会場
- (3) 練習会場
- (4) 会場位置図
- (5) 競技会場への交通・輸送
- (6) 市町内宿泊施設数及び収容能力
- (7) 大会・競技会等の実績及び計画
- (8) スポーツ振興等に対する取組及び国体を契機とした地域活性化の計画
- (9) 体育協会・競技団体の現況



## 第 7 6 回国民体育大会競技団体会場地希望調査実施要項（抜粋）

第 7 6 回国民体育大会三重県準備委員会事務局

## 1 調査目的

各競技団体から競技会場地希望等を調査し、会場地市町及び競技施設の選定を円滑に推進することを目的とします。

## 2 調査対象競技団体

第 7 6 回国民体育大会において実施する正式競技（毎年実施競技・隔年実施競技）及び特別競技は、次のとおりです。

## ○ 毎年実施競技 36 競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、※軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、※なぎなた、ボウリング、ゴルフ、※トライアスロン  
 <※ 第74回国民体育大会(茨城大会)から毎年実施競技となる競技>

## ○ 隔年実施競技 1 競技

銃剣道、（※クレ射撃）

※ クレー射撃競技については、平成26年3月までの当該競技団体の状況により正式競技の対象となる場合があります。その場合、同競技については隔年実施競技の対象となります。

また、同競技が平成26年3月末までに正式競技の対象とならなかった場合、銃剣道競技は毎年実施となります。

## ○ 特別競技 1 競技

高等学校野球（硬式・軟式）

## 3 調査内容

- (1) 開催希望市町について
- (2) 大会・競技会等の実績及び計画について
- (3) 複数会場地開催について
- (4) 県内競技施設の状況について
- (5) その他